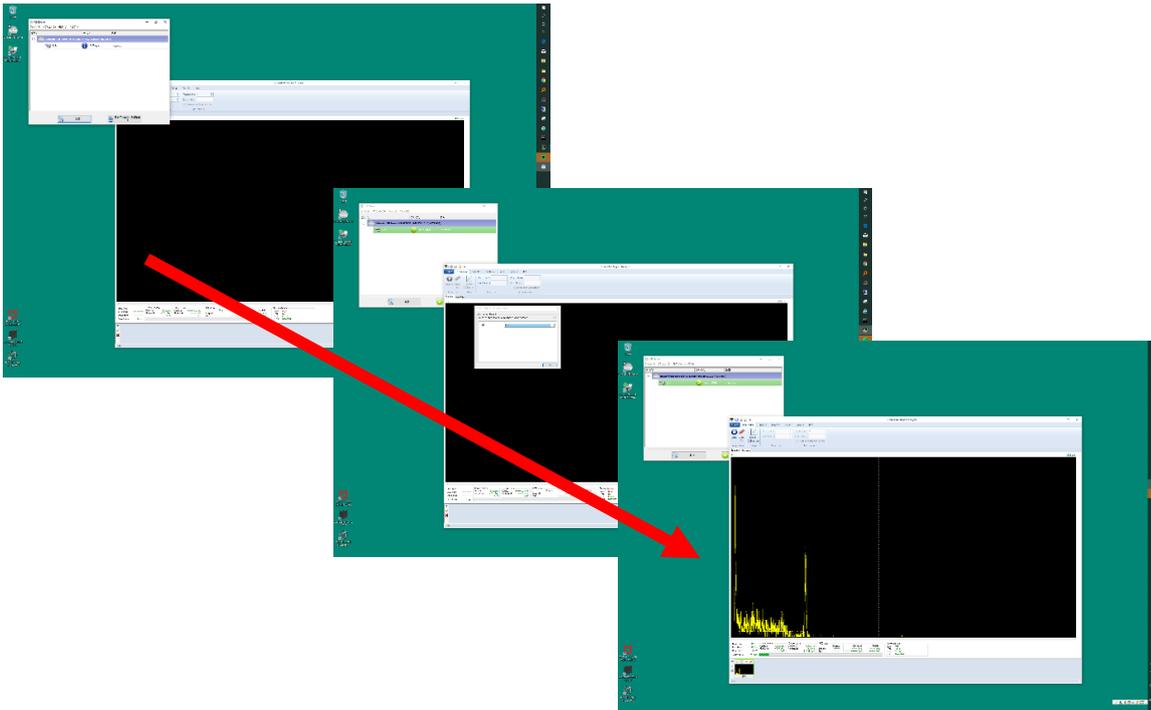


PCに接続したLANケーブルをPoE Injectorに入力。
PoE InjectorからのPoE出力とPoEスプリッタ間をLANケーブルで接続
PoE InjectorからのPoE出力とPoEスプリッタ間をLANケーブルで接続
PoEスプリッタで分岐されたDC電源（5V）をUSB Saverの電源へ接続
PoEスプリッタで分岐されたデータをLANケーブルでUSB Saverへ接続
PCにてUSB Saverソフトを起動（製品同梱のCDにて供給される）
USB Saverソフト上で認識したUSBデバイスを接続する。
KromeK社Multispect（及びKSpect）を起動し、GR1のIDを指定する。



3. 追加試験

KromeK社MultiSpectは複数のKromeK検出器を制御可能な有償のソフトウェアであるので、本試験の追加試験としてUSB Saverに市販のUSBハブを接続し、2台のGR1をUSBハブに接続してPoE給電で制御可能かを確認しました。



2台のGR1に関しては問題なく測定を実施することが確認できました。

4. 各機器の寸法及び重量（ケーブル類除く）

KromeK社	CZT Gamma Spectorometer Model GR1	25 x 25 x 63mm	54g
wavlink社	Networking USB2.0 Server Model WL-NU78M41	54 x 54 x 26mm	36g
ANVISION社	PoE Splitter Model TL-PD-24G	55x85x30mm	78g
FLAMEER社	PoE Injector Model LZD202-24W-48V-G (802.3at)	44x84x30mm	104g

5 WiFiネットワーク接続（2017/9確認）

(1) 使用した機器

- 1) KromeK社 CZT Gamma Spectorometer Model GR1
- 2) IO-Data WiFi Router Model WN-AC1600DGR
- 3) Microsoft社 Note PC Model SarfacePro (Windows10 64bits)
- 4) KromeK社 Control Software Model MultiSpect



WiFiルータの標準機能でUSBプリンタをネットワークに接続するための機能を利用しGR1が制御可能かを確認しました。



IO-Data社からはWN-DS/US-HSの様な小型のWiFi対応USBサーバが発売されているのでより小型化が見込まれます。